

「学校と医療のよりよい連携のための対応指針」を活用した 摂食障害ゲートキーパー研修会

摂食障害は、先進国において注目すべき疾患となり、若年での発症、男性での発症、コロナ禍での増加も見られています。

特に若年者では、頑張り屋、スポーツとの関連、あるきっかけから食べられなくなるなどの特徴も見られ、症状が進むと長期にわたる心身の症状を残し、学業や社会的な生活にも影響を与えるため、学校現場での早期発見、適切な対応、医療との連携がうまく繋がることが望まれます。

この度、学校における摂食障害への対応「エキスパートコンセンサスによる摂食障害に関する学校と医療のよりよい連携のための対応指針」を活用した学校での対応について、早期発見、早期対応、治療中の対応等、疾患の基礎から対応の実際までを解説いたします。
ぜひご参加ください。



◇日時：令和7年10月19日（日）15：30～17：00

＊第28回日本摂食障害学会学術集会 令和7年10月18日（土）・19日（日）内で開催されます。

◇会場：東京国際交流館プラザ平成

〒135-8630 東京都江東区青海2丁目2番1号

◇内容：「摂食障害に関する学校と医療のより良い連携のための対応指針；高校生版」の活用

司会：磯部昌憲（京都大学医学部精神医学教室）

1. 摂食症の概要と学校との連携

演者：作田亮一（獨協医科大学埼玉医療センター子どものこころ診療センター）

2. 「対応指針の解説（高校生版）」

演者：高宮静男（たかみやこころのクリニック）

3. 「思春期の事例提示・適応解説（高校生版）」

演者：服部紀代先生（兵庫大学健康科学部）

4. 質疑応答



＊対応指針（小学校版・中学校版・高等学校版・大学版）は、「摂食障害情報ポータルサイト 専門職」の中の「参考資料 学校関係」https://edcenter.ncnp.go.jp/edportal_pro/material.htmlからダウンロードできます。

◇参加費 2000 円（研修会場にて現金でお支払いをお願いします。学会参加者も別途お支払いください）

◇申し込み 第28回日本摂食障害学会学術集会 web site 内

<https://med-gakkai.jp/jsed2025/> で事前申し込み（Google フォームで受け付け）をお願いします。

学術集会に参加しない方でも研修会のみに参加可能です。